

The logo for TOA DIKK, featuring the letters 'TOA' in a bold, blue, sans-serif font, followed by a stylized blue circular graphic element, and then 'DIKK' in a similar bold, blue, sans-serif font.

# TOA DIKK

第 **73** 期

第 2 四半期 (中間) 事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日 ▶ 平成 28 年 9 月 30 日

A blue oval containing the text '環境計測' (Environmental Measurement).

環境計測

A green oval containing the text '医療関連計測' (Medical-related Measurement).

医療関連計測

東亜ディーケーケー 株式会社

証券コード：6848

## 株主の皆様へ



代表取締役社長

西村 和彦

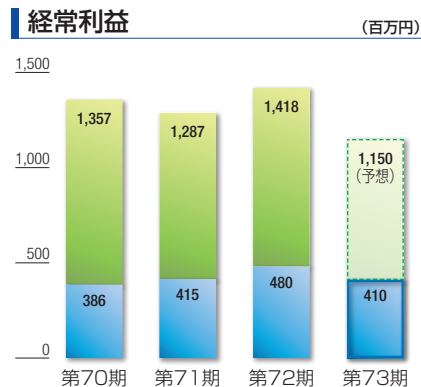
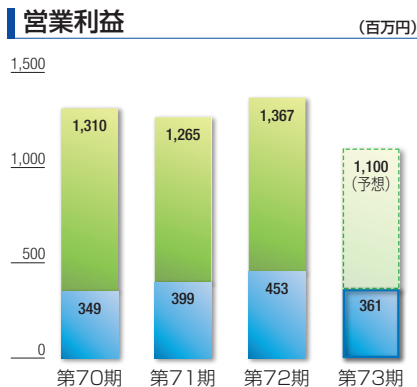
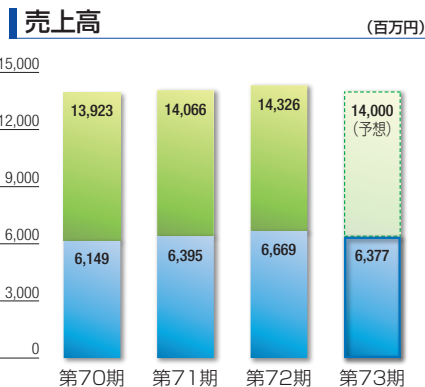
第73期第2四半期（中間）事業報告書をお届けするに当たり、株主の皆様には平素のご支援に対し心から御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資は依然として力強さが欠け、加えて世界経済の減速や為替変動のリスク要因などから景気の先行感が不透明さを増幅し低調に推移しました。

このような経営環境に加えて、前年同期には当社が得意とする官公庁向けの上水道用分析計及び環境用大気分析計の複数の大型案件が「偶々」重なり大きく利益面に寄与しておりましたが、当期は平常需要に戻ったことから、前年同期に比べ売上高と利益面は大きく減少しました。しかしながら、平成28年5月10日に公表の当第2

## 財務ハイライト（連結推移）

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 予想



四半期連結累計期間業績予想値の売上高は微減であるものの営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は確保しております。

一方、当社では、予てから海外戦略に経営資源を集中的に投入した結果、中国向け環境用水質計を中心とする当社の「水」技術に対し高評価を得ていることなどから、海外売上高は増進し、国内需要の減少額を一部補填することができました。今後も海外売上高は当分堅調に推移するものと期待しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,377百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は361百万円（前年同期比20.3%減）、経常利益は410百万円（前年同期比14.5%減）、親会社株主に帰

属する四半期純利益は234百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

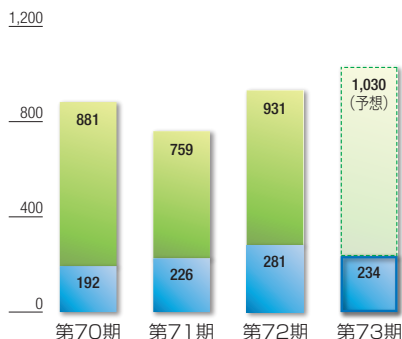
なお、経営改革の一環として推進中の「単月黒字化運動」は減益ではありますが、85ヶ月の連勝記録を続けております。

ここに永年の株主の皆様のご温かく力強いご支援と共に、お客様、お取引先等全てのステークホルダーのご支援に改めて厚く感謝申し上げる次第であります。

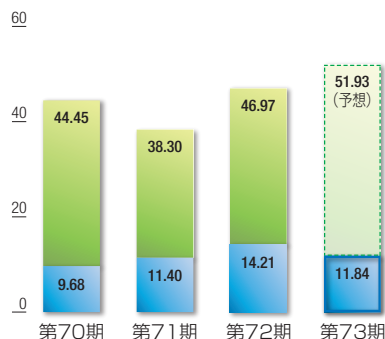
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)

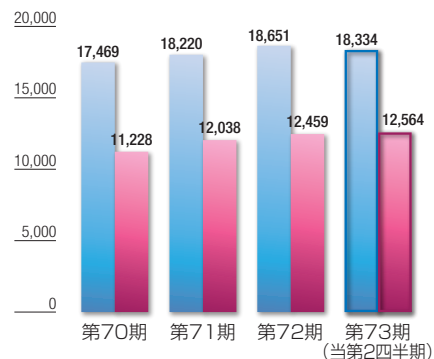


■ 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



■ 連結総資産 ■ 連結純資産

■ 総資産／純資産 (百万円)



## 分野別売上高の概況

### 計測機器事業

売上高 **6,268百万円** (前年同期比 4.1%減)

### ● 環境・プロセス分析機器

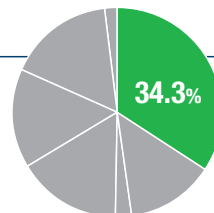
売上高 **2,187百万円** (前年同期比 12.2%減)



法規制に対応した環境用水質及び大気の監視、安心・安全でおいしい水道水の供給、そのほか水処理を必要とするあらゆる業界の生産、品質管理プロセスに導入されています。

この分野は、基本プロセス計測器、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計等であります。

海外輸出では中国市場向け環境用水質計が増進しましたが、国内市場では前年同期にあった上水道用分析計及び環境用大気分析計の大口案件が減少したため、前年同期比12.2%減となりました。



### ● 科学分析機器

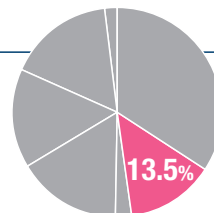
売上高 **859百万円** (前年同期比 1.6%増)



大学や試験研究機関、製造現場、化学、製薬、食品、農業等あらゆる場所の水質測定に使用されています。

この分野は、ラボ用分析機器、ポータブル分析計、医療用関連機器等であります。

医療用関連機器は伸び悩みましたが、ラボ用分析機器及びポータブル分析計が増加したため、前年同期比1.6%増となりました。



## ● 産業用ガス検知警報器

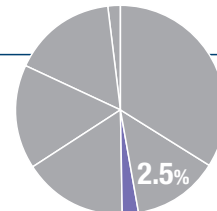
売上高 **158**百万円 (前年同期比 9.5%減)



ガス貯蔵場所、製造ラインの可燃性ガスや有毒ガスの漏洩を連続監視し、安全な作業環境を提供しています。

この分野は、バイオニクス機器株式会社が製造・販売する産業用ガス検知警報器であります。

海外輸出は微増でしたが、国内市場が伸び悩んだため、前年同期比9.5%減となりました。



## ● 電極・標準液

売上高 **1,048**百万円 (前年同期比 2.8%増)

## ● 保守・修理

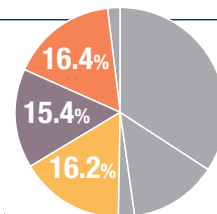
売上高 **982**百万円 (前年同期比 1.5%増)

## ● 部品・その他

売上高 **1,032**百万円 (前年同期比 0.4%減)

この分野は、環境・プロセス分析機器、科学分析機器の分野における全製品群の補用品類、現地調整・定期点検及び修理、リペアパーツ等に該当するものであります。

部品・その他は、若干の減少でしたが、電極・標準液及び保守・修理が増加し、全体としては前年同期比1.3%増となりました。

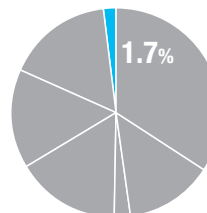


## 不動産賃貸事業

売上高 **108**百万円 (前年同期比 18.6%減)

東京都新宿区の本社に隣接の賃貸ビル1棟、埼玉県狭山市に貸店舗1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。

貸店舗の契約満了に伴う解約により、当事業の売上高は108百万円(前年同期比18.6%減)となりました。



医療関連分野の事業拡大に向けた増産体制構築

## 「医療関連機器専用」の新工場建設を決定

当社は、水・大気・ガスの3本柱に次ぐ4本目の柱として、医療関連分野での事業拡大に注力しています。28年前に水質測定のコルカタ技術を応用した人工腎臓用粉末型透析用剤溶解装置の開発・製造を開始して以来、透析医療施設への納入で実績を重ね、当事業を拡大してまいりました。

透析治療を必要とされている方々は、日本、中国を中心とするアジア地区一円で増加しています。このたびは大手医療機器メーカーからの生産委託による増産要請を受け、それに対応するために、狭山テクニカルセンター（埼玉県狭山市）の敷地内に新工場を建設することを決定しました。

なお、粉末型透析用剤溶解装置以外にも、当社の強みであるセンサ技術を応用して開発予定の臨床医療用製品と併せて、医療関連分野での売上高拡大を目指してまいります。

### 建設の目的

生産設備増強：粉末型透析用剤溶解装置の生産能力  
500台～600台／年（従来比約2倍）

品質管理向上：粉末型透析用剤溶解装置は医療機器には該当しないものの、今後の製品開発に向け、医療機器工場と同水準の設備を完備

作業環境整備：作業環境と効率に配慮した工場設計

### 新工場の概要

建屋概要：延床面積 約3,300㎡  
鉄筋コンクリート地上4階建

主な用途：生産ライン、試験評価設備、倉庫

着工／竣工：平成29年1月／同年9月予定

総工費：約12億円



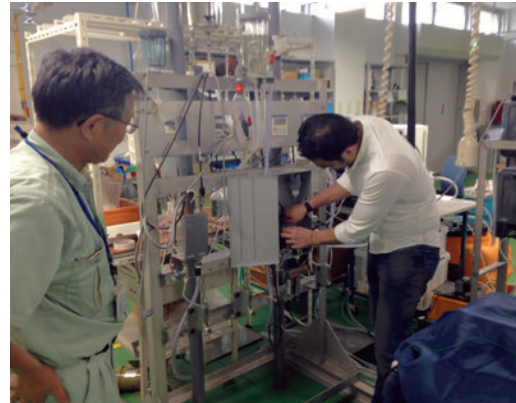
完成予想図

## クウェート国代理店KCCEC社 技術研修で来社

クウェート国のエンジニアリング会社 KCCEC社 (KCC Engineering and Contracting Company) との販売代理店契約締結につきまして、第72期第2四半期(中間)事業報告書でご報告しましたが、平成28年9月に同社の担当者が技術研修のため来社されました。

当社の開発研究センターにおいて、科学分析機器や油膜検知器等の実機を操作し、測定原理の習得に努めるなど、クウェート国電力・水省や石油精製大手国営企業への販売準備に向けて精力的に取り組まれました。

今回の研修を機に、発電所や海水淡水化・石油精製等の主要顧客における更新需要と新規プロジェクトの獲得を積極的に推進してまいります。



## 株主優待制度のご案内

毎年9月末現在の株主名簿に記載された100株以上をご所有の株主様に、社会貢献型寄付金付クオカードを贈呈しております。クオカードをご利用いただくことで、当社から使用額の一部を(公社)国土緑化推進機構が運営する「緑の募金」へ寄付いたします。(株主様には全額お使いいただけます。)

前期分につきましては、7月に寄付させていただきます。株主の皆様のご協力に感謝いたします。

### ◎株主ご優待の基準及び内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	寄付金付クオカード500円分
500株以上1,000株未満	寄付金付クオカード1,000円分
1,000株以上	寄付金付クオカード2,000円分

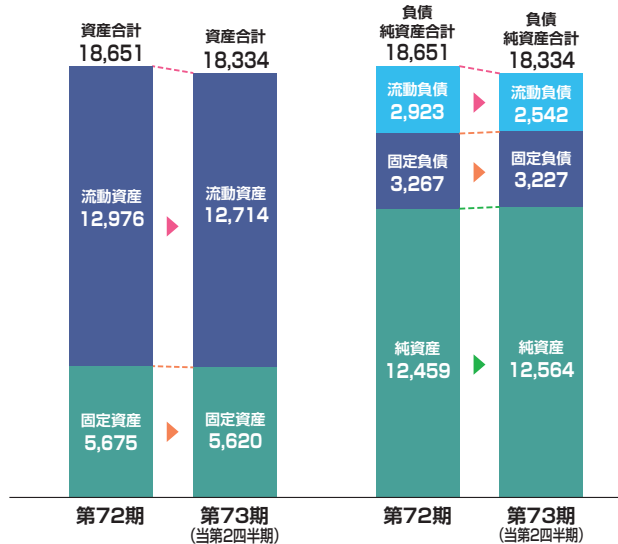
### ◎贈呈の時期及び方法

年1回、毎年12月に第2四半期(中間)事業報告書に同封してご送付いたします。

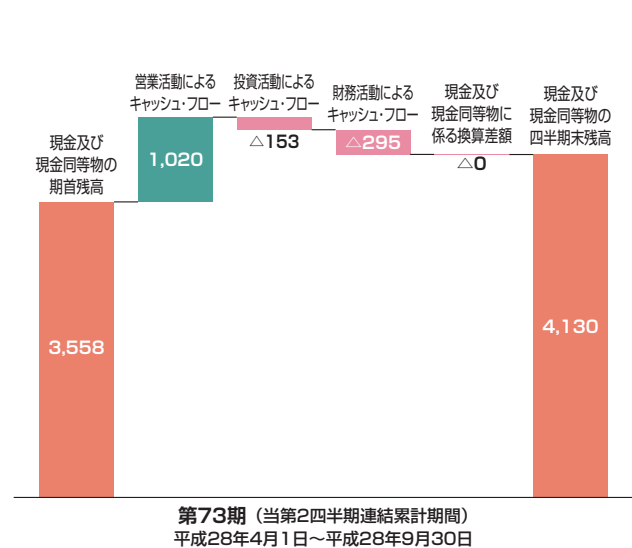


## 第2四半期連結財務データ

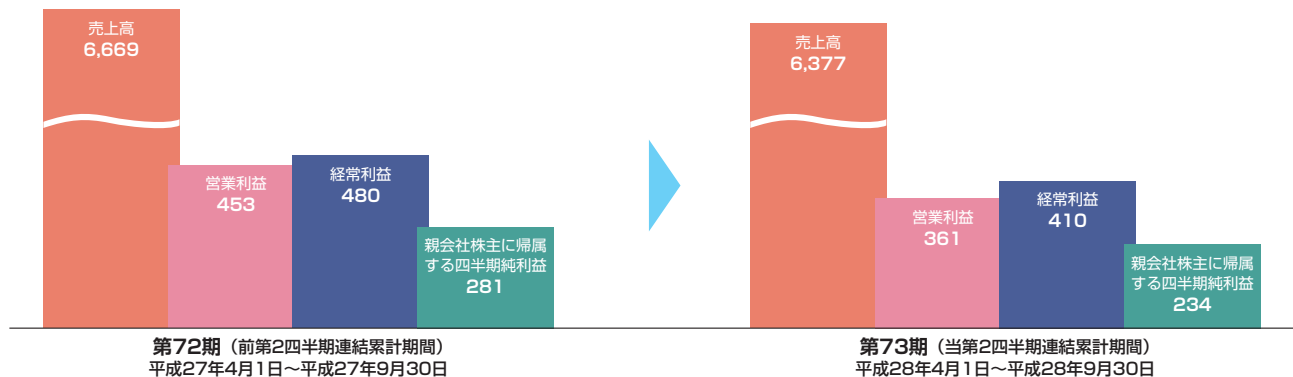
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書の概要 (単位：百万円)





## 第2四半期連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度	当第2四半期
	平成28年3月31日現在	連結会計期間 平成28年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	12,976	12,714
固定資産	5,675	5,620
有形固定資産	3,115	3,031
無形固定資産	391	329
投資その他の資産	2,168	2,259
資 産 合 計	18,651	18,334
(負債の部)		
流動負債	2,923	2,542
固定負債	3,267	3,227
負 債 合 計	6,191	5,769
(純資産の部)		
株主資本	12,003	12,000
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	8,875	8,871
自己株式	△11	△11
その他の包括利益累計額	456	564
その他有価証券評価差額金	667	765
退職給付に係る調整累計額	△211	△201
純 資 産 合 計	12,459	12,564
負 債 純 資 産 合 計	18,651	18,334

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
売 上 高	6,669	6,377
売 上 原 価	4,061	3,914
売 上 総 利 益	2,608	2,462
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,155	2,101
営 業 利 益	453	361
営 業 外 収 益	34	55
営 業 外 費 用	7	6
経 常 利 益	480	410
特 別 利 益	—	0
特 別 損 失	4	0
税金等調整前四半期純利益	475	410
法 人 税 等	194	175
四 半 期 純 利 益	281	234
親会社株主に帰属する四半期純利益	281	234

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	649	1,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306	△295
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	258	571
現金及び現金同等物の期首残高	3,353	3,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,612	4,130

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社の概況 (平成28年9月30日現在)

- 商号 東亜ディーケーケー株式会社
- 本社 東京都新宿区高田馬場一丁目29番10号
- 創立 昭和19年9月19日
- 役員

代表取締役社長	佐々木 輝 男
取締役会長	山守 康 夫
代表取締役副社長	高橋 俊 夫
取締役副社長	玉井 亨
常務取締役	赤沢 真 一
取締役	山下 和 人
取締役	松野 侶 夫
取締役	伊東 哲
取締役	マニッシュ・バトナガー
取締役	田中 健一郎*
取締役	大野 博*
常勤監査役	柳下 耕 一
常勤監査役	吉田 壽*
監査役	富山 恭 道*
監査役	米澤 廣 行*

\*社外取締役 \*社外監査役

- 資本金 18億4,248万1千円
- 従業員の状況  
男性 260名 女性 85名 合計 345名
- 執行役員

岡 林 充 洋
茂 木 隆
嘉 津 誠 治
田 野 倉 和 夫
沖 田 安 生
岸 川 則 夫
中 島 信 寿
東 海 林 正 男
魚 次 泰 介

### ● 主要な事業内容

#### ● 計測機器事業

##### 環境・プロセス分析機器

基本プロセス計測器 (pH・ORP計、電気伝導率計、溶存酸素計、電磁濃度計、ガスクロマトグラフ)、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計

##### 科学分析機器

ラボ用分析機器・ポータブル分析計 (pH・ORPメータ、電気伝導率計、イオンメータ、溶存酸素計、水質・塩分計、吸光光度計)、分離分析計、LAシステム、医療用関連機器 (透析関連装置、臨床用検査機器)

##### 産業用ガス検知警報器

定置式ガス検知器、本質安全防爆ガス検知器、可搬型ガス検知器

電極・標準液、保守・修理、部品・その他

#### ● 不動産賃貸事業

● 事業所及び営業所

本社	〒169-8648	東京都新宿区高田馬場1-29-10	TEL 03-3202-0211
狭山テクニカルセンター・開発研究センター	〒350-1388	埼玉県狭山市北入曽613	TEL 04-2957-6151
東京エンジニアリングセンター	〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-563-5551
大阪支社	〒530-0047	大阪市北区西天満3-6-28オクタス西天満ビル	TEL 06-6312-5100
札幌営業所	〒060-0806	札幌市北区北6条西6-2福徳ビル	TEL 011-726-9859
仙台営業所	〒980-0022	仙台市青葉区五橋2-1-4仙台五橋ビル	TEL 022-723-5734
千代田営業所	〒290-0038	千葉県市原市五井西2-2-11	TEL 0436-23-7531
神奈川営業所	〒220-0021	横浜市西区桜木町5-26-3桜木町日本堂ビル	TEL 045-222-1361
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地2-21-1コーポ汐入	TEL 054-236-0106
名古屋営業所	〒460-0022	名古屋市中区金山3-8-18プレアル名古屋金山	TEL 052-324-6335
岡山営業所	〒710-0824	岡山県倉敷市白楽町593-1亀山総合ビル	TEL 086-423-5181
広島営業所	〒733-0002	広島市西区楠木町1-9-27第3コーポ大場	TEL 082-297-7370
山口営業所	〒745-0055	山口県周南市相生町1-36山本ビル	TEL 0834-27-2707
四国営業所	〒760-0055	香川県高松市観光通2-2-15第二ダイヤビル	TEL 087-831-3450
九州営業所	〒802-0001	北九州市小倉北区浅野2-1-21駅西幹線ビル	TEL 093-551-2727
長崎事務所	〒850-0066	長崎市大浜町846-20	TEL 095-865-0921
ソウル連絡事務所	Room 1210, Seoul Forest IT Castle, 130 Gwangnaru-ro, Seongdong-gu, Seoul, Korea	柳林TECH株式会社社内	TEL 010-82-2-6310-6380

● グループ会社

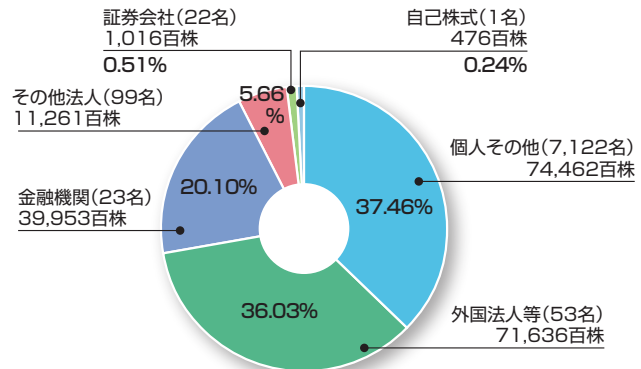
山形東亜DKK株式会社	〒996-0053	山形県新庄市大字福田字福田山711-109	TEL 0233-23-5011
岩手東亜DKK株式会社	〒028-0534	岩手県遠野市綾織町みさ崎9地割9-3	TEL 0198-62-5800
アリス東亜DKK株式会社	〒350-1315	埼玉県狭山市北入曽613	TEL 04-2957-7141
東亜DKKアナリティカ株式会社	〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-567-2727
パイオニクス機器株式会社	〒207-0004	東京都東大和市清水6-1254-2	TEL 042-565-1200
東亜DKKサービス株式会社	〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-563-5643

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

● 発行可能株式総数	50,000,000株
● 発行済株式の総数	19,880,620株
● 株主数	7,320名
● 大株主(上位10名)	

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
ハック・カンパニー	66,590	33.49
山下	11,097	5.58
明治安田生命保険相互会社	10,500	5.28
株式会社みずほ銀行	5,125	2.57
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,460	2.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,275	2.15
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,192	2.10
佐々木輝男	3,964	1.99
東亜ディーケーケー社員持株会社	2,974	1.49
みずほ信託銀行株式会社	2,590	1.30

● 所有者別分布状況(発行済株式の総数に対する割合)



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
基準日	毎年3月31日（その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。）
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード 6848）
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店 ブラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店(*) (*)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行株式会社(*)及び株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります) (*)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

**公告方法** 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
公告掲載URL (<http://www.toadkk.co.jp/ir/notification.html>)



### ● IR情報のご案内

当社では、IR専用サイトを設けて、決算情報などのIR関連情報をタイムリーに提供しております。また、株主・投資家の皆様専用の「お問い合わせフォーム」もございますので、お気軽にご利用ください。

### 東亜ディーケーケー 株式会社

この第2四半期(中間)事業報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

経営戦略部 経営企画課 TEL 03-3202-0242  
FAX 03-3202-0285

URL <http://www.toadkk.co.jp/>  
当社ホームページをご覧ください。

